

まえがき

緑化生態研究室は、環境と調和した社会の実現に向け、地球温暖化対策や生物多様性の確保等の地球環境問題への対応から、身近な社会基盤の質的充実や、豊かな国民生活を実現する緑の保全・創出まで、環境分野等における研究を行っております。

本報告書は、緑化生態研究室が平成26年度に行った調査・研究の概要ならびに、当研究室のスタッフが平成26年度に学会や雑誌などで発表した論文を収録したものです。

平成26年度に実施した調査・研究課題は、大きく以下の5テーマに分類されます。

- ① 地球温暖化対策に関する研究
- ② 樹木の管理と更新に関する研究
- ③ 生物多様性の確保に関する研究
- ④ 良好な景観の形成に関する研究
- ⑤ 公共空間の分析と計画に関する研究

「① 地球温暖化対策に関する研究」では、樹木のCO₂固定に関する研究を実施しました。

「② 樹木の管理と更新に関する研究」では、街路樹の保全・再生手法に関する研究を実施しました。

「③ 生物多様性の確保に関する研究」では、都市における生物多様性に関する研究、地域性植物による緑化手法に関する研究、河川管理による外来植物の分布抑制に関する研究、猛禽類等に対する環境保全措置及びモニタリング手法に関する研究、生物多様性の評価・予測モデルに関する研究を実施しました。

「④ 良好な景観の形成に関する研究」では、歴史的風致を支える伝統技術の効果及び活用に関する研究、道路空間の再編・利用に関する研究を実施しました。

「⑤ 公共空間の分析と計画に関する研究」では、緑の基本計画の策定、公園緑地による防災・減災事例、都市公園の質的向上に関する研究を実施しました。

末尾ながらこれまでの関係の皆様のご指導、ご協力に感謝するとともに、緑化生態研究室に対する変わらぬご支援をお願いする次第です。

平成28年1月

国土交通省 国土技術政策総合研究所
防災・メンテナンス基盤研究センター
緑化生態研究室長
栗原 正夫